

分野別計画における「(仮称)皆さんも取り組んでみませんか？」一覧表

1 環境・アメニティ**施策1 地域から取り組む「環境への負荷の少ない持続可能な社会」の実現****施策2 ともに取り組み、参加する めぐるまち(循環型都市)の創造**

- 日頃から節電、公共交通機関の利用、エコドライブ等を心掛ける。
- できるだけ省エネ・リサイクル製品を購入する。また、買物の際にはイバックを持参し、事業者は簡易包装に取り組む。
- 家庭、地域、職場等で、ごみの分別を徹底するなどしてリデュース(ごみの発生抑制)に努めるとともに、リユース(再利用)やリサイクル(再生利用)に取り組む。

施策3 人と自然が共生する緑豊かな美しい都市の創造

- ポイ捨てや歩きたばこをしない、自宅や会社のまわりのごみを拾うなど、身近な場所の美化を心掛ける。また、地域でのごみ拾いなど環境の保全や美化活動に、家族や友人を誘って参加する。
- 子どもや家族と見沼田圃や河川など自然に触れる機会を増やす。また、自然環境の保全活動に家族や友人とともに参加する。
- 住宅や建物を建築する際などには、景観や自然環境の保全に配慮する。

2 健康・福祉**施策1 子育てしやすい都市の実現**

- 子どもと一緒に過ごす時間を大切にするとともに、幼稚園や保育所等の行事、子育てサークルなどに家族や友人を誘って参加する。
- 子どもの安全確保や子育て世帯の孤立防止のため、地域で見守りを行う。また、児童虐待などに気づいたときは、児童相談所等の専門機関へ通報する。
- 事業者は、従業員のワーク・ライフ・バランスの向上、子育て環境の整備など働きやすい環境づくりに努める。

施策2 高齢となっても暮らしやすい都市の実現

- 近所や地域で、高齢者やその家族などへの声掛け、見守り、手助けをする。
- 高齢者は、これまで培ってきた様々な経験・知識・技術等を地域社会に還元するよう心掛ける。

施策3 誰もが地域の中で自分らしく暮らせる都市の実現

- 障害のある人やその家族が地域で孤立しないよう、障害の特性を理解した上で交流し、助け合いながら生活する。
- 事業者は、障害のある人の雇用に努める。

施策4 心身ともに健康で活力に満ちた社会の実現

- 日常生活の改善(手洗いやうがい、咳エチケット、1日1時間の軽い運動、就寝前の飲食を控えること等)から始める。
- 自らの健康に関心を持ち、家族や友人と一緒に、または地域や会社ぐるみで健康づくりに取り組む。
- 定期的に健康診断やがん検診を受診するとともに、かかりつけ医を持つ。

3 教育・文化・スポーツ**施策1 希望をはぐくむ教育の推進と青少年の健全育成**

- 子どもの将来の夢について話し合うなど、家族でコミュニケーションを図る。
- 学校行事などに家族や友人を誘って参加し、地域や学校との連携を強める。
- 「子どもひなん所110番の家」や防犯ボランティアに参加するなど、地域で子どもたちの安全を見守る。

施策2 生涯を通じた学びの充実とその成果の活用**施策3 健康で活力ある「スポーツのまち さいたま」の実現****施策4 文化芸術都市の創造**

- 公民館等の講座、地域の伝統行事、スポーツや文化芸術に関する活動などに家族や友人を誘って参加する。
- 事業者や大学、市民(地域)団体等は、生涯学習の講座、スポーツや文化芸術に関するイベントの開催など、学びの機会を地域に提供するよう心掛ける。
- これまでの経験や生涯学習などで得た知識や技能を地域のために生かすよう心掛ける。

4 都市基盤・交通**施策1 低炭素で質の高い生活環境を提供する市街地の形成****施策2 にぎわいや交流を創出する魅力的な都心・副都心の形成**

- 自分たちのまちに関心を持ち、地域のまちづくり活動に参加する。
- 住宅・建物の壁面、屋上等の緑化に努めるとともに、地域での花壇活動などに家族や友人とともに参加する。
- 事業者は、開発などを行う際には近隣の生活環境に配慮し、近隣住民との合意形成に努める。
- 都心・副都心で行われるイベントに家族や友人を誘って出かける。

施策3 暮らしや交流を支える交通体系の構築

- 安全で快適な自転車利用のため、自転車利用に関するルール・マナーを守るとともに、駅前等に自転車を放置しない。
- 過度な自動車利用を控え、電車やバスなどの公共交通機関を利用する。

5 産業・経済**施策1 活力ある地域産業を育てる環境の整備****施策2 さいたま市の特性を生かした新たな産業の創造**

- 買物は、地元の商店街・農産物直売所などで、地場産品・製造品を購入するよう心掛ける。
- 地元のイベントに家族や友人を誘って出かける。
- 鉄道博物館や大宮盆栽美術館、岩槻の人形、サッカーなど、さいたま市の魅力を友人や知人に話してみる。
- 事業者は、地域において社会的責任に配慮しつつ事業活動を行う。

施策3 地域経済を支える人材の育成と就労支援

- 子育てなど、お互いの事情を考慮し、協力して仕事をする。
- 事業者は、地元での採用や人材の育成、社員の誰もが働きやすい環境づくりに努める。

6 安全・生活基盤**施策1 災害に強い都市の構築**

- 家族で災害時の避難場所、経路、緊急連絡先等を確認し、防災グッズを備えておくとともに、地域の防災訓練に積極的に参加する。
- 事業者は、地域の一員として防災訓練の実施や非常時物資の確保などに取り組む。
- 日頃から火事を起こさないよう心掛け、放火されない環境をつくるとともに、住宅等に火災警報器や消火器を備え、消火器の使い方を理解しておく。
- 応急手当の知識・技術を習得する(AEDの使い方などを含む)。

施策2 交通事故や犯罪の少ない生活環境の形成

- 自動車や自転車の利用者、歩行者とともに、日頃から交通ルールやマナーを守る。
- 日頃から近隣での声掛けなどを行い、地域ぐるみで防犯意識を高める。
- 地域の防犯活動に家族や近所の人とともに参加する。

施策3 安全・安心な生活基盤づくり

- 水の大切さについて家族で話し合い、日頃から水を無駄使いしないよう心掛ける。
- 台所、トイレ、お風呂や道路の側溝など下水道管に通じる場所では、油やごみなどを流さないようにする。
- 住宅の耐震化やバリアフリー化に努める。

7 交流・コミュニティ**施策1 人権尊重社会の実現**

- 家族で人権や家庭内の役割分担について話し合う。
- 家庭、職場、地域など様々な場で、男女の区別なくお互いを認め合い、協力する。
- セクシュアル・ハラスメント、DVなど人権被害の防止に取り組み、何か気づいたことがあれば専門機関等に連絡する。

施策2 ふれあいのある地域社会の形成と活性化

- 自治会をはじめとする地域団体や学校などの活動に、家族や友人とともに参加する。
- 隣近所へのあいさつなど、日頃からのコミュニケーションを心掛ける。
- 事業者や大学等は、地域のイベントに参加するなど、地域住民との交流に取り組む。

施策3 多文化共生・世界に開かれた都市づくり

- 国籍などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、地域において良い関係を築けるよう心掛ける。
- 平和の大切さについて、家族で話し合う。